

平成27年度茨城県立土浦第一高等学校全日制課程普通科第68回卒業証書授与式

式辞

霞ヶ浦を渡る風，旧本館を囲む木々に，春の訪れを感じる今日の佳き日，土浦一高を羽ばたく317名の卒業生の皆さん，卒業，おめでとう。心からお祝い申し上げます。

そして，進修同窓会会長・幡谷浩史様，PTA会長・江戸宏明様はじめ，多数のご来賓の皆様方のご臨席を賜り，ここに茨城県立土浦第一高等学校全日制課程普通科第68回卒業証書授与式を盛大に挙行できますことは，私たち教職員にとりましてこの上ない喜びであり，教職員を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。



また，お子様の姿を後ろの席から，温かい眼差しで見守っておられる保護者の皆様，本日は誠におめでとうございます。時には衝突し，時には励まし，ともに悩み，喜び合ったことを思うと，今日の喜びは，いかばかりかとお察しいたします。心身ともに立派に成長されましたお子様のご卒業を心よりお慶び申し上げます。併せて，これまで本校教育にご理解ご協力くださいましたことに，深く感謝申し上げます。

さて，本日，この学舎を巣立ち行く卒業生の皆さん，皆さんは，平成25年4月，希望に胸ふくらませて本校の校門をくぐりました。以来，「自主・協同・責任」の校訓のもと，勉学に部活動に委員会活動に，青春のエネルギーを燃焼させ，輝かしい学校生活を築き上げました。皆さんの健闘に心から賞賛の拍手を送ります。

私が本校に着任したのは1年前でした。この1年間，皆さんからは，たくさんの感動をいただきました。一高祭では，心をつにして歌った合唱祭，色々なアイデアを出し合ったクラスの出し物，どれも皆さんの情熱がほとぼしっていました。スペースシャトルのゲートをくぐった来場者が史上最高の6300人を超えたのも，皆さんが一高祭に掛けた熱い思いの賜だと思えます。

そして，野球部がベスト16入りした夏の高校野球では，雷雨にも負けない怒濤の応援は圧巻でした。一高オリンピックでは，各種競技を全力で戦い，全力で応援するクラスの団結力を，思う存分見せてもらいました。また，歩く会では，石岡から30キロ近い山越えの行程を，誰ひとり脱落することなく完歩する姿に，頼もしさを感じました。

これらの様々な学校行事は，いずれも情感あふれる青春のよき思い出として，いつまでも皆さんの心の中で，永く生き続けるものと思えます。そして，皆さんの過ごした3年間，楽しいことばかりではなかったかと思えます。しかし，同じ時間・同じ空間で，同じ体験を共有した仲間との絆は，今後の人生を歩む上で，大きな拠り所になっていくものと確信しています。

明日からは，一人一人新しい歩みが始まります。未来が皆さんを待ち受けています。し

かし、皆さんが漕ぎ出す大海原は、決して静かな風ばかりではありません。我が国は、生産年齢人口の急減、労働生産性の低迷、また、国際的にはグローバル化・多極化の進展など、荒波に挟まれた厳しい時代を迎えています。世の中の流れは、予想よりもはるかに早く変わりつつあります。このような時代だからこそ、社会は若さと可能性を持つ皆さんに大きな期待を寄せています。選挙権年齢の引き下げが示しているように、若い人たちの活力をより強く求めています。

そこで、皆さんにこれからの活躍を期待して、私が日頃から校長講話などを通してお願いしてきたことを、最後に再度お願いをして餞の言葉といたします。

1つ目は、「高い『志』」です。

1年前の4月の始業式、幕末の志士・吉田松陰の言葉「志を立てて、もって万事の源となす」を紹介して、志を立てることがすべての出発点、まず高い志を持ってほしいとお願いしました。皆さんは、すでに自分の志を持ち、力強く歩み出していることと思います。

そこで、さらに加えて、同じく吉田松陰先生の「志定まれば、気盛んなり」という言葉を皆さんに贈ります。「志定まれば、気盛んなり」、この言葉は、目標を決めただけでは十分ではなく、その目標を達成する意味は何かを自分で明らかにすれば、やる気がますます盛んになっていくという意味です。では、志を定めるにはどうすればいいのでしょうか。

11月の文化講演会で、リクルートワークス研究所の大久保幸夫所長にご講演をいただきました。大久保さんは、「リクナビ」「タウンワーク」を手がけた方で本校の卒業生です。大久保さんは、可能性が無限にある皆さんには若いうちに行動半径を広げたくさんチャレンジして、成功・失敗の体験をより多く積み重ねてほしい、また、自分の未来は自分で決定してほしいと示唆に富むメッセージを贈ってくださいました。高い「志」を持ちさらにそれを確たるものにするため、今後、何事にも積極的にチャレンジしてほしいと思います。

2つ目は、「豊かな人間関係」です。

本校では、「ノブレス・オブリージュ」（高き位に、重き務めあり）の教育理念を掲げて「社会の役に立つ人材」の育成に当たっています。「高い知性」とともに「豊かな人間性」を身に付けることを重視し、より良い人間関係を作ることを大切にしています。このため、私は全校集会において互いを褒め合うなどのワークショップをしてもらいました。

チームワークのいい3年生・卒業生の皆さんですから、必ずや「社会の役に立つ人材」として人と繋がり協力し合うことで、いい仕事をしてくれるものと確信しています。なお、人との繋がりへの第一歩は挨拶です。皆さんは私にいつも笑顔で挨拶をしてくださいました。「おはようございます」「こんにちわ」。一高スマイルの挨拶、私は大好きです。どうぞ、これからも笑顔の挨拶で豊かな人間関係を築いていっていただきたいと思います。

最後に3つ目、ご存じ「ATG」です。

これからの人生、時として辛いことや苦しいこともあるかもしれませんが。そんな時、ATG（明るく、楽しく、元気よく）で乗り越えていただきたいと思います。暗い気持ちで

は、マイナス思考になります。逆に明るい気持ちになれば、自然とプラス思考になっていきます。やらされていると思えば、何をやってもつまらない。逆に自分から主体的にやれば、楽しいものです。ATGの心構えで臨めば、「何とかする力」が必ず湧いてきます。

皆さんは、すでにATGを実践し「何とかする力」を身に付けていると思いますが、さらにATGを心掛け自分の道を力強く切り開いていていただきたいと思います。

結びとなりますが、3年間、一生懸命皆さん一人一人を励まし支援を惜しまなかった3学年の先生はじめ本校すべての教職員を代表して、前途洋々たる未来に旅立つ皆さんに幸多からんことをお祈りするとともに、本日私たち教職員に幸せな気持ちを与えてくれた卒業生の皆さんに対して、心より御礼を申し上げまして式辞といたします。

卒業生の皆さん、ありがとう。

平成28年3月1日

茨城県立土浦第一高等学校長 横島 義昭

